

パブリック・コメント実施要領 (グローバル・コミュニケーション系専門職大学院基準 (改定案))

2026 (令和8) 年度からグローバル・コミュニケーション系専門職大学院認証評価としての第3期を迎えることから、さらなる発展を図るため、グローバル・コミュニケーション系専門職大学院基準の改定を行います。そして、このたび改定案に対するパブリック・コメントを実施しますので、下記要領に従い、ご意見をご提出ください。

○意見提出期限

2026年1月6日(金) 正午まで

○基準の適用

2026年度の認証評価からの運用を予定している。

○意見募集の対象

- ・ 「グローバル・コミュニケーション系専門職大学院基準 (改定案)」

○改定案等の閲覧方法

下記URLより本協会ウェブページにアクセスし、閲覧してください。

<パブリック・コメント実施ページ>

<https://www.juaa.or.jp/news/detail---id-197.html>

○意見提出方法

パブリック・コメント実施ページに掲載のウェブフォームよりご回答ください。

○意見の取扱い

- ・ 基準の改定作業において検討し、必要に応じて意見に基づく加筆・修正を行う。
- ・ 意見については、その採否結果とともに公表することがある(ただし、個人・団体名は明らかにしない)。

○学生への周知のご協力のお願い (任意)

教育の質向上のためには、学生の意見をとり入れることも重要です。また、専門職大学院に在籍する学生は、高度専門職業人を目指し、主体的に学ぶ意思を持った人物であり、学生にとっても広い意味での質保証に関わることは有意味だと思われます。こうしたことから、今回のパブリック・コメントでは、学生の皆様からも意見を募ります。パブリック・コメント実施ページについて、学生向けパンフレットも掲載しておりますの

で、学生の皆様への周知にご協力いただけますと幸いです。

なお、周知の対象・方法に指定はありません。例えば、教育改善のために特定の学生から意見を聞く機会を設けている場合、そうした機会に参加した経験のある学生に周知することや、専門職大学院の運営や教育改善等にかかわる会議体などが組織化されている場合は、その組織から意見を募っても構いません。

広く学生に周知する場合は、研究科のウェブページや学生用サイトへの掲示、メールでの配信などで学生に周知することも構いません。

(案内文例)

学生の皆様

公益財団法人大学基準協会は、高等教育機関の評価や、高等教育のあり方に関わる国内外の事例等の調査研究を通じ、わが国の高等教育の質保証・質向上に取り組んでいる大学団体です。その活動の一環として、グローバル・コミュニケーション系専門職大学院の認証評価を実施しています。このたび、同協会は評価に利用する基準を改定する過程において、基準に対するパブリック・コメントを実施します。学生の皆様からの意見も募っていますので、関心のある方は、本協会ホームページNewsに掲載している「グローバル・コミュニケーション系専門職大学院基準（改定案）に対する意見の募集について」をお読みください。

<https://www.juaa.or.jp/news/accreditation/>

○本件に関する問い合わせ

公益財団法人 大学基準協会

評価事業部 評価第2課（担当：三澤、佐藤）

〒162-0842 東京都新宿区市谷砂土原町2-7-13

TEL：03-5228-3883 FAX：03-5228-2323

E-mail：prof@juaa.or.jp

○ 基準改定の経緯・理由

- ・ 2016年度に開始したグローバル・コミュニケーション系専門職大学院認証評価では、グローバル・コミュニケーション系分野の高度専門職業人教育の質保証に取り組むべく、グローバル・コミュニケーション系専門職大学院に必要な事項を定め、評価を行ってきた。
- ・ この度の改定では、自己点検・評価及び認証評価をより効率的、かつ効果的に行えるようにすべく、基準全体や「評価の視点」の構成を改めて整理した。
- ・ これまでに定めた当該分野の高度専門職業人に必要な能力やこれを涵養するための教育課程に求められる要素は引き継ぐこととする。ただし、時代の変化にあわせた表現に更新するとともに、グローバル・コミュニケーション系専門職大学院の特徴をよりの確に評価できる基準へと見直した。
- ・ 基準の改定にあたっては、本協会の「基準委員会」のもとに「グローバル・コミュニケーション系専門職大学院基準検討小委員会」を設置し、審議・起案を行った。

グローバル・コミュニケーション系専門職大学院基準検討小委員会名簿

職名	氏名	所属機関
主査	音 好宏	上智大学
委員	舘岡 洋子	早稲田大学
委員	山脇 岳志	スマートニュース メディア研究所
委員	渡辺 敦子	文教大学

○ 主な改定点、基準の概要

(1) 効率的かつ効果的な自己点検・評価及び認証評価の実施に向けた取り組み

①大項目の整理・統合

▶ 機関別認証評価と重複する大項目を整理するとともに、専門職大学院の教育を中心とした基準体系を明確に示すため、大項目を変更した。

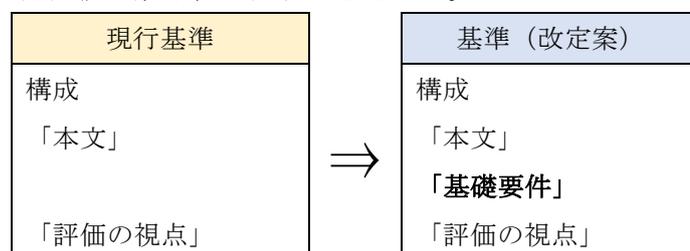
現行基準	基準（改定案）
大項目 1 使命・目的 2 教育内容・方法・成果 (1) 教育課程・教育内容 (2) 教育方法 (3) 成果 3 教員・教員組織 4 学生の受け入れ 5 学生支援 6 教育研究等環境 7 管理運営 8 点検・評価、情報公開	⇒
	大項目 1 使命・目的 2 教育課程・学習成果、学生 3 教員・教員組織 4 専門職大学院の運営と改善・向上

※基準（改定案）と現行基準の大項目の主な対応関係

現行基準	基準（改定案）
1 使命・目的	→ 1 使命・目的
2 教育内容・方法・成果 (1) 教育課程・教育内容 (2) 教育方法 (3) 成果	→ 2 教育課程・学習成果、学生
3 教員・教員組織 6 教育研究等環境 (※図書館、自習室など学生に関する環境)	→ 3 教員・教員組織
7 管理運営 (※ただしグローバル・コミュニケーション系専門職大学院の教育を審議・決定する組織のみを残し、他は機関別認証評価の範疇として廃止)	→ 4 専門職大学院の運営と改善・向上
8 点検・評価、情報公開	

②法令要件等の表形式化

- ▶ 基準構成を見直し、法令要件をはじめたとした基礎要件を「基礎要件」として表にとりまとめることで、申請大学院における自己点検・評価及び本協会における認証評価の効率化を促すこととした。



- ▶ 現行基準では「評価の視点」をF群（Fundamental）・L群（Legal）・A群（Advanced）に区分していたものの、基礎要件（法令要件を含む）を新設したことから、「評価の視点」の区分を廃止する。
- ▶ 「基礎要件」には、法令要件ではないものの、評価の視点に係るデータも含まれていることから、現在の評価で提出を求めている「基礎データ」を廃止する。
- ▶ 上記のように、法令要件等を基礎要件として表形式とし、大項目及び評価の視点を整理したことにより、評価の視点数が以下の通り変更となった。

旧基準（現行基準）	評価の視点数	新基準（基準（改定案））	評価の視点数	基礎要件の表数
大項目		大項目		
1 使命・目的	7	1 使命・目的	2	1
2 教育内容・方法・成果	計 35	2 教育課程・学習成果、 学生	21	7
（1）教育課程・教育内容	14			
（2）教育方法	19			
（3）成果	2			
3 教員・教員組織	15	3 教員・教員組織	12	7
4 学生の受け入れ	8			
5 学生支援	8			
6 教育研究等環境	12			
7 管理運営	8	4 専門職大学院の運営 と改善・向上	8	2
8 点検・評価、情報公開	9			
計	102	計	43	17

※「基礎要件の表数」からは、基準における「基礎要件」として示していない表18、19を除いている。

以 上